

1. 活動の概要

6月1日に浜田市旭小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。

旭小学校は旧旭町にあった小学校を統合して新設された小学校で、児童は旧旭町全域から通学してきます。授業では、まず旭町内にある様々な遺跡について勉強しました。現在確認されている最も古い遺跡が、約 3500 年前までさかのぼる縄文時代の遺跡であることや、高速道路の建設に先立って多くの遺跡が調査されたことなどの説明を受けました。また、県の埋蔵文化財調査センターや市の教育委員会で保管している出土遺物が沢山展示され、実際に手に取ったり触ったりしながら、これらの土器を昔の人がどうやって作ったのか、何に使った石器なのかなどを考えました。

体験活動は金属鏡づくりを選択しました。まず埋蔵文化財調査センターの職員から、古代の鏡の話をお聞きしました。古代鏡の種類や権力の象徴として使われていた貴重なものであることを学びました。また、銅鏡を製作する方法を教してもらい、鏡を完成させるために高い技術が必要であることを勉強しました。

次に、いよいよ金属鏡の鑄造体験を行いました。まず先生と埋蔵文化財調査センター職員が実演を行って、その手順を参考に皆で順番に鑄造を行いました。鑄型の組み合わせや縛り方が甘く、金属が溢れてしまったり、慎重に鑄込みすぎで金属が途中で固まってしまう、鏡に穴があくこともありましたが、金属はもう一度溶かせばやり直せるので問題ありません。一度失敗した子も、もう一度チャレンジし、最終的には全員がきれいに銅鏡を作ることができました。時間が足りなかったのできちんと磨いた鏡を完成することはできませんでしたが、各自休み時間や家で磨き続けた結果、きれいな鏡面を持つ鏡ができたようです。

2. 活動の様子

1)旭小学校周辺の遺跡について知る



土器や石器を実際に触ってみよう。

2)金属鏡づくり



溶けた金属を慎重に流し込みます。

3. 子ども塾を終えて

1)児童の皆さんから…

- ・旭小学校のまわりに、古墳や遺跡がたくさんあって驚いた。実際に古墳を見に行ってみたい。
- ・土器や石器に触ることができてうれしかった。もっと古い土器や道具を見たい。
- ・実際に土器を探して、自分で見つけてみたい。

・金属鏡が上手くできて良かった。あとで磨いたらピカピカになって顔が映った。

2)担任の先生から…

- 校区内の遺跡について知ることができ、地元で出土した土器や石器を見たり、触れることができ、とても良かった。
- 金属鏡は子どもたちがピカピカに磨き上げ、喜んでいました。
- 事前の打ち合わせで学校に来てくださり、ありがたかったです。

3)埋文センターから

市町村合併や人口減少のため仕方がないことではありますが、旧旭町内の小学校が1カ所に統合されており、広大な校区になっていることが驚きでした。身近な遺跡、自分たちの住んでいる場所の歴史について知ってほしいという気持ちでしたが、紹介する遺跡が偏ると、児童によっては家の近所に遺跡がないこともあるだろうと考えました。先生には事前に児童の住む地域を教えていただき、できるだけ様々な地域の遺跡を取り上げることにしました。県が過去に実施した発掘調査は高速道路関係に限られたので、市教育委員会のバックアップを得て、多くの出土遺物を借用し、授業に持ち込みました。(旧旭町の資料館が近くにありますが、通常施錠されています)児童にとっては、教科書の中の記述と、自分たちの住む地域の歴史がなかなかリンクしていないようでしたが、授業をつうじて遺跡や古墳、歴史の勉強がより身近なものとなったようです。

金属鏡づくりは、町内出土例が皆無で理由付け、動機付けをすることが難しかったのですが、古代の鑄造技術の高さ、昔の人の実力を知るという観点から鏡のイロハを説明しました。鑄込みの時間は一瞬なので、なかなか目が行き届かず、上手くいかない子もいましたが、低融解金属の場合再チャレンジが簡単なので、何とか全員が鑄造を成功させることができました。